

中村梅雀、柄本佑、安藤サクラ 豪華キャストが出演 「殺すな」(原作:藤沢周平)

史上初！劇場上映、テレビ放送ほぼ同時展開！！

1.28(金)より イオンシネマ 劇場上映 2.1(火) 時代劇専門チャンネル TV 初放送

時代劇専門チャンネルを運営する日本映画放送株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石原隆）は、時代劇文化継承の志を共にする時代劇パートナーズと共に、中村梅雀、柄本佑、安藤サクラ出演のオリジナル時代劇最新作「殺すな」（原作：藤沢周平）を制作しました。2022年1月28日(金)より全国のイオンシネマ 89 館で劇場上映、2月1日(火)に時代劇専門チャンネルでTV初放送いたします。

“この橋を渡ったら、殺すぞ” 訳あり男女3人それぞれの想いが交錯する
52 分間。

「殺すな」の原作は、時代小説の名手・藤沢周平が、様々な人間が行き交う江戸の橋を舞台に、市井の男女の喜怒哀楽の表情を瑞々しく描いた短篇集『橋ものがたり』の一篇。本作は、かつて妻を手に掛けたことを悔いる浪人・小谷善左衛門と、同じ長屋に住む訳ありの若い男女、3人それぞれの心模様を深い滋味と温かさをもって描いた秀逸な作品です。

中村梅雀、柄本佑、安藤サクラが名匠・井上昭監督のもとに集結。

監督デビューから60年、今も精力的に映画を撮り続ける名匠・井上昭監督。その井上監督が、かねてより映像化を望んだ本作の実現にあたり、「井上監督の作品ならば」と豪華キャストが集結しました。主演を務めるのは、井上監督が手がけたオリジナル時代劇「鬼平外伝 夜兎の角右衛門」「冬の日」で主演を務めた中村梅雀。同じく井上監督作「遅いしあわせ」に出演し、その演出・人柄に惚れ込んだ柄本佑、さらに映画「万引き家族」で世界にその存在感を示した女優・安藤サクラが出演者として名を連ねます。“憎しみか、愛か。”その答えを観る者に委ねるような井上監督の余白ある演出と、それに呼応する豪華キャストの競演が描き出す情念的な世界観にご注目ください。



イオンシネマ 1.28(金)から劇場上映 時代劇専門チャンネル 2.1(火)より初放送

©「殺すな」時代劇パートナーズ

主演：中村梅雀コメント



待ちに待った、久々の井上昭監督の作品で、撮影を終えた今、出演することができて良かったと改めて感じています。

ワンカットワンカット、しびれるような集中力と雰囲気、余韻が感じられる、まさに夢のような現場でした。

この作品は普遍的な男女の愛を描いた物語です。

そしてそれは現代社会にも通じるものであり、愛するものを失った者の苦痛、後悔、悲しさなど、いろんなものが凝縮されているとても深い人間ドラマだと思います。

井上昭監督が丁寧に撮り上げ、私たち役者も心を込めて演じたこの作品、皆様にぜひご覧いただきたいと思います。

「殺すな」 作品情報

名匠・井上昭監督がかねてより映像化を熱望していた藤沢周平の時代小説「殺すな」
52 分のささやかな物語に描かれるのは、3 人の男女の切なくも温かい想いー。



■あらすじ

裏店の長屋で筆づくりの内職をして糊口をしのぐ浪人・小谷善左エ門は、同じ長屋に住む船頭の吉蔵から、一緒に暮らすお峯の様子を見張るように頼まれていた。元は船宿の女将と抱え船頭だった 2 人は、密通のうえ駆け落ちしてここで隠れるように暮らし始めたものの、やがてお峯は退屈な日々で虚しさを感じ始める。気晴らしのため川向こうへと架かる橋を渡ってみたい…との思いに駆られるお峯と、居場所が露見することを危惧して「橋を渡るな」と厳命する吉蔵。すきま風が吹き始めた 2 人の様子を、善左エ門はかつての自分と、自らの手に掛けてしまった妻の姿に重ねあわせて見守っていたのだが…。覚悟を決めたお峯、暴走する吉蔵、心の叫びを上げる善左エ門。橋の袂で 3 人の切ない思いが交錯する。

■キャスト



中村梅雀
(小谷善左エ門)



柄本佑
(吉蔵)



中村玉緒
(おはな)



本田博太郎
(利兵衛)



安藤サクラ
(お峯)

■監督：井上昭（1928 年・京都府出身）

日本映画界の巨匠・溝口健二に師事し数々の名匠から薫陶を受け、映画「座頭市二段斬り」（65 年）や「眠狂四郎多情剣」（66 年）などでメガホンを取り、勝新太郎や市川雷蔵など数々の名優に愛された。2010 年に時代劇専門チャンネルが手掛けるオリジナル時代劇の第一作「鬼平外伝 夜兎の角右衛門」（中村梅雀主演）で監督を務めて以来、井上監督が手がけたオリジナル時代劇は本作で 8 作品目に及ぶ。時代劇を語るうえで、欠かせない名匠。

■制作概要

原作：藤沢周平「殺すな」（新潮文庫／実業之日本社『橋ものがたり』所収）

出演：中村梅雀 柄本佑 中村玉緒（特別出演） 本田博太郎 安藤サクラ

監督：井上昭 脚本：中村努 音楽：遠藤浩二

エグゼクティブ・プロデューサー：宮川朋之（時代劇専門チャンネル）

プロデューサー：田倉拓紀（時代劇専門チャンネル） 足立弘平（松竹）

本編尺：52 分

上映：1 月 28 日（金）より全国のイオンシネマ 89 館にて劇場上映

放送：2 月 1 日（火）より 7 時 時代劇専門チャンネルで TV 初放送

製作：「殺すな」時代劇パートナーズ

時代劇専門チャンネル 朝日新聞社 読売新聞社 新潮社 BS フジ 文藝春秋 中日新聞社 毎日新聞社

関西テレビ放送 クオラス 産経新聞社 カルチュア・エンタテインメント 東海テレビ 石川テレビ

鹿児島テレビ KBS 京都 テレビ長崎 福井テレビ リイド社

制作：時代劇専門チャンネル 松竹

殺すな

1.28(金)より
全国のイオンシネマ 89 館にて劇場上映

2.1(火)より 7 時
時代劇専門チャンネルで TV 初放送

▼作品公式サイト

<https://www.jidaigeki.com/korosuna/>

■時代劇専門チャンネルについて <https://www.jidaigeki.com/>

日本映画放送株式会社（本社：東京都千代田区）が運営する、24 時間 365 日 時代劇だけを放送する有料放送チャンネル。視聴方法はスカパー！/J:COM/ひかり TV/ケーブル TV 視聴可能世帯数 約 800 万世帯(2021 年 6 月末現在)